

第2回南城市地域交通会議 議事要旨

日時：平成26年2月6日(木) 14:00～16:00

場所：南城市役所 2F 玉城農村改善センター ホール

< 出席者 >

団体名等	氏名	備考
南城市	與那嶺 紘也	会長
琉球大学工学部環境建設工学科	神谷 大介	副会長
沖縄総合事務局 運輸部 企画室	小野 協子	
沖縄総合事務局 運輸部 陸上交通課	古堅 宗安	
沖縄県 企画部 交通政策課	多嘉良 斉	
沖縄県 (南部土木事務所)	佐久本 嗣純	代理
与那原警察署 交通課	平 晃	
一般社団法人 沖縄県バス協会	慶田 佳春	
私鉄沖縄県労働組合連合会	根保 裕次	代理
沖縄バス株式会社	親川 武司	
株式会社琉球バス交通	大城 幸和	代理
東陽バス株式会社	普久原 朝啓	
大里タクシー合名会社	知念 武	
南城市老人クラブ連合会	大城 幸盛	
南城市民生委員児童委員連合会	金城 定雄	代理
南城市区長会	奥間 邑達	代理

< 議 事 要 旨 >

1.現在の利用状況について

発言者	発言
委員	一日何便運行しているのか。
事務局	5台待機しているが、日によって運行台数や便数は変動する。
委員	一日に、何便出て何人乗せたか、便ごとに利用を整備すべき。
副委員長	総人口に対しての利用者数ではなく、字ごとに65歳以上の人口に対して何人登録したか、うち何人利用したかなど整理が必要。
委員	デマンドバスがなければ外出しなかった人の理由も把握すべき。
事務局	今回は、車内での簡易アンケート。これから登録者にアンケート予定。次回会議までに整理する。
委員	外出しない理由が、バス路線の本数であれば改善できる。
委員	無償での運行だが、有償で実施しないとどのくらい赤字がでるかかわからないのではないか。
事務局	法的手続き上、無償でやっている。無償だから乗っている人もいるかと思うが、今後有償にしていく。
副委員長	登録情報で住所の情報はわかるので、そこから最寄りバス停も確認できる。車内アンケートでは利用目的がないので必要。登録して乗らなかった、1度乗って乗らないのはなぜなのか理由も把握する必要がある。
委員	路線バスがない地域で乗せてほしい。馬天営業所にも行っているが、既存客にどう影響あるか気になる。馬天で降りてその後、バスに乗ったかデータが取ればよい。
事務局	市外へはバス・タクシーと連携した移動となるが、今回のアンケートは市内での移動を把握しているため、別途調査の検討が必要。
副委員長	バス会社でも、どの便に何人乗ったか、過去実績とデマンド以降どうなったのかなど、市任せではなく、バス会社の情報提供も必要。
委員	2号車の運行が少ないのはなぜか。
事務局	観光客向けのため運行が少ない。
委員	タクシーに電話すると、△△の〇〇さんとすぐ分かる。利用する人と会社側がすぐ分かれば安心して利用できる。

2.観光客向けの周遊ルートについて

発言者	発言
委員	周遊ルートは地域間。南城市まではどのように連れてくるのか。路線バスなどどうなのか。
事務局	観光客向けチラシにバスの路線図は載せている。
委員	観光客向けチラシは、指定した場所に迎えに来ると思うのでデマンドバスの説明を直す必要がある。 寄り道ポイントによらず、メインポイントに直行した場合の次の出発時間はどうなるのか。
事務局	次の出発時刻まで待機する。
委員	ユインチホテルを通るバスはわずか。お客さんからすれば、親慶原に来てもらうと良い。ユインチまでは結構歩く。バス路線も分かりにくい馬天ターミナルだと分かりやすい。また観光客は、バス停まで来てどこに行けばいいか分からないと思う。
事務局	バス会社のご協力がほしい。親慶原まで来てデマンドバスを利用できますと案内してほしい。
委員	周遊ルートは、観光客のみか。市民は利用できるのか。
事務局	市内観光なので、観光目的利用ならできる。
委員	観光客向けも市民向けも、おでかけなんじいなのか。
事務局	現在は、同じ名称としている。
委員	ユインチホテルはどのような方が利用しているのか。 市民向けデマンドか観光客デマンドか把握しにくい。明確にすべき。また、利用プランなどがあると良い。カフェまで行きその後、周遊に乗るのか市民向けのデマンドに乗るのかなど。 観光客は、沖縄に来る前にレンタカーを利用すると決めているので、その前に案内すべき。1日レンタカーがなければこんな遊び方ができると案内する。役所やルートのカフェ等にリンクを張ってもらうほうが良い。
事務局	ユインチはファミリーでレンタカー利用が多い。カーナビでは行けない所もあるので、デマンドが便利とPRしたい。市内は民泊もあり、観光地へは受け入れ家庭の送迎も多い。軽自動車だと不便。ペンション利用客にもPRできないか検討中。

3.本格運行の体制について

発言者	発言
委員	デマンドタクシーとは、タクシーと同じなのか。
委員	タクシーとは異なる。 タクシーやバス会社が運営するほうと事業がスムーズではないか。
事務局	公募で業者選定をする予定。
委員	タクシー会社では運営しにくい。バス会社ではできる事業。
委員	デマンドバス運行をするかしないかの判断もある。有償になったあとの実証実験もするのか。
事務局	無償で現在 900 人余りの登録だが、利用していない人もいる。有償の実証実験はまだしていない。4 月以降、内閣府から交付金がおれば、長期で実証実験ができる。
委員	交付金がおれば、4 月以降も無料なのか。
事務局	協議会で運賃を決めて、有償での実験となる。
委員	運転免許を返納して、運転経歴証明書を持っていると、バスやタクシーでは割引がある。それも視野に入れてはどうか。
事務局	割引運賃については、低所得者も含めて検討している。
委員	〇〇市では、無料で市内周遊バスを運行していたが、去年、中学生以上 100 円、小学生や障がい者は無料としたところ、利用が 1/3 に激減した。有償になると利用が減る可能性が高いことを念頭にいれるべき。 他府県では 200-300 円とあるが、沖縄は所得が低いのもっと安いほうがいい。
委員	実証実験の前にしたアンケートでは、市内だけだと使わないという人もいた。与那原の病院に行くからと。 また、バス停で待つ時の腰掛も必要である。
委員	無償からいきなり 300 円は厳しい。登録も減らないか。沖縄の他市町村でコミュニティバスなど行っているが、うまくいった事がない。一括交付金というのは分かるが、市民に有益なのか。バス停に屋根を付けてキレイにするなどにしてほしい。交付金だからやる、駄目ならやめるではなく、交付金も税金であるので大切にすべき。観光客もバスで市内に来て市内はデマンドよりは、そこでタクシーに乗せてあげたほうが効率的で客も好きなどところに行ける。
委員	有償 300 円前後という根拠を教えてほしい。
事務局	車内簡易アンケートで、300 円、200 円、400 円が主な回答だったので 300 円としている。次回、登録者アンケートをして再検討する。

発言者	発言
委員	デマンドの収支面はどうか。
事務局	九州の事例では、良くて40%程度、悪いところでは10%などがある。
委員	公募とあるが、事業者へ見積もりもとるのか。
事務局	費用と体制を把握し、判断材料とする。
副委員長	デマンドの評価には、収益と便益の2つの視点があり、それを整理して検討すべき。市にも大きな負担があり、市民の生活交通が困っており、高齢者が加害者となる事故も増えている。もし収益が見込めるのならば、すでに民間が実施していると思う。300円の金額は平均値なので、金額の分布も考慮する必要がある。